







## 4 これまでの取組

本市では、これまで認知度とブランド力の向上を図るため、次の取組を実施してきました。書やサボテン、暮らしやすさを様々な方法により発信し、市のPRを行っています。

取組	概要
<p><b>書のまち春日井 「道風(とうふう) くん」</b></p>	<p>本市は、平安時代の三跡の一人、小野道風の誕生伝説地として、「書のまち春日井」をキャッチフレーズに、全国的にも珍しい書専門の美術館「道風記念館」の運営や全国公募の書道展「道風展」の開催など、書道文化の振興・発信を行っている。</p> <p>「道風くん」は、平成6年に「道風生誕1100年」をPRするために誕生。平成20年にリニューアルし、現在に至る。書のまち春日井のマスコットキャラクターとして、様々な行事に参加するとともに、各種グッズも販売している。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">©Kasugai City 2008 書のまち春日井「道風くん」</p>
<p><b>春日井サボテン</b></p>	<p>伊勢湾台風により果樹園が壊滅的なダメージを受けたことを機に、当時副業としていたサボテン栽培を主体に切り替える農家が増えた。それ以降、春日井市で種から育てる実生サボテンが盛んに栽培されることとなり、一大生産地となった。平成18年に商工会議所が中心となり、サボテンを活用したPRを開始。サボテンアイスやサボテンラーメンなど、多様な商品が生まれた。平成19年には春日井サボテンキャラクターも誕生。現在も様々な商品が開発されているほか、毎年4月には「サボテンフェア」が開催され、市内外から多くの人を訪れている。</p>  <p style="text-align: center;">春代    日丸    井之介</p>  <p style="text-align: center;">サボテンフェア</p>

取組	概要
<b>春日井広報大使</b>	<p>本市の魅力を生市内外に広くPRし、イメージを向上させることを目的として、市制70周年を契機に、主に本市に縁があり、芸術、文化、スポーツ又は教育等の分野で活躍している人を「春日井広報大使」に委嘱。市主催イベントへの出演のほか、普段の活動時に名刺を配付してもらい、受け取った人の中から抽選で春日井市特産品を送付している。</p> 
<b>Da Monde春日井</b>	<p>「住み続けたいまち」を戦略的にPRするため、若手職員を中心に「シビック・プライド向上委員会（活動期間：平成26～27年度）」を設置し、シティプロモーションサイト「Da Monde春日井」を開設。その後、継続してDa Monde春日井のロゴマーク等を活用し、民間事業者の広告媒体での発信や市ホームページにおける動画の放映、地域の紹介など、市内外に広く本市のPR活動を実施している。</p> 
<b>「子はかすがい、子育ては春日井」宣言</b>	<p>NPO法人あっとわんとNPO法人あいちかすがいっこを推進パートナーとして、子育て施策の一層の充実を図り、子育て世代を始めとする全ての世代の「暮らしやすさ」の向上を目指すことを市内外にPRするため、平成28年3月24日に宣言。</p> 

取組	概要
<p><b>春日井ムービーコンテスト</b></p>	<p>平成28年10月にJR春日井駅自由通路に公共掲示板（デジタルサイネージ）が設置され、市政情報や市PR情報等を動画で発信し始めたことを受け、市の新たな魅力発見と、市民の本市への愛着の醸成を目的として、平成29年度に実施。</p> 
<p><b>図柄入り春日井ナンバープレート</b></p>	<p>本市への愛着の醸成と対外的な認知度の向上を目的として平成30年10月からスタート。デザインは公募し、全国189点の応募の中から市民投票の結果を基に決定。</p> 